

75. バカガイ *Mactra (Mactra) chinensis* Philippi 図版31

英名 sunray surf clam

露名 キタイスカヤ マクトラ
китайская мактра

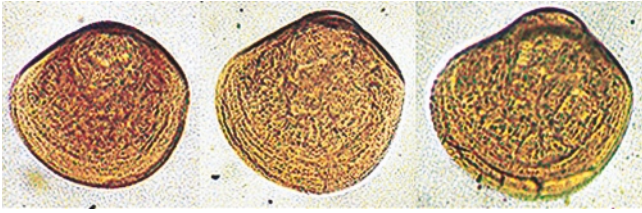
地方名(北海道) エゾバカガイ、エゾバカ、アブラガイ、ミナトガイ、
アカガイ、アオヤギ

漢字 ばかがい
馬鹿貝

アイヌ語名 パケナイナイ、ルオセイ

【形態】 殻は丸みのあるハマグリ形で、薄く壊れやすい。殻頂*はやや前方にあり、殻の前縁は丸く、後縁はやや細長い。殻表は黄色から茶褐色の殻皮*で覆われ、紫褐色の放射彩*があり、表面はつやがある。殻内面は、紫がかった白色である。弾帯受*は大きく、前後の側歯*は明らかである。斧足*はオレンジ色である。北海道産のものは通常若齢貝だけに見られる殻表面の放射彩が成貝*になっても残っている個体が多く、エゾバカガイと呼ばれることがある。殻長* 9 cm に達する。

【生態】 サハリン、北海道から九州、朝鮮半島、中国、沿海地方に分布する。潮間帯*から水深20mくらいまでの砂泥底にすむ。殻長2.5cm以上で生殖可能となる。産卵期は太平洋側の苫小牧*で7～9月、日本海側のひやま 桧山地方で7～8月の年1回である。成熟*した卵巣は鮮紅色、精巣はクリーム色。雌1



ハカガイの浮遊幼生
左からそれぞれ殻長
195、210、233 μ m

個体当たり数百万粒の卵を産む。海水中で受精し、約1カ月の浮遊期間を経て、殻長約260 μ mとなり底生生活に移る。

東京湾では満1年で殻長5cmになる。北海道では満1年で、苫小牧では約3cm、松山地方では約2.5cmに成長する。殻長7cm以上の漁獲サイズに成長するには、苫小牧では4年、松山地方では5年を要すると推定されている。また貝殻の輪紋による年齢査定*から、寿命は長くて10年程度と考えられている。ウバガイと同様に水管*を海底上に伸ばして、プランクトンやデトリタス*を餌とする。